

(別紙4(2))

事業所名 あびこやすらぎの里

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 7 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	16	新人研修制度での レポート提出制度を設けていなかった。各個人の指導、履行に委ねていた。研修性に 一貫性が無かった。	新人スタッフが 入居者によって異なるケアの方法を間違える事なく修得できる。責任感使命感を持って働くことが出来る。	研修期間中 毎日業務終了後 研修内容 感想を記入して頂く。研修の全てが終わったらレポートを書いて頂きスタッフ全員が閲覧し捺印をする。	3ヶ月
2	1	地域密着型サービスの意義を改めて考え入居者が地域生活の継続 向上が出来る様にしていく	近隣の人等 誰もがいつでも気軽に訪れてくれる様な施設にする。当施設が地域の人達に親しみを持っていただける様な開放的な場所として認識してもらえる。	今後の運営推進委員会で出席者の意見を参考にしたい。また他のグループホームと意見交換していく。グループホームのネットワークに加入した。	3ヶ月
3	27	緊急時いつ救急車を誰が 何時に呼んだかまた家族の誰に電話をかけたか細かいところまで書面に記録として残していなかった。	緊急時 急変時 他に特記すべき事項は確実に書面に記録を残す。その時の係った者の名前や時間を正確に記録として残す。	スタッフ間でよく話し合い 誰がいつ何時に等全て記録を残すという事を決めた。その内容をスタッフノートで情報を共有する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月